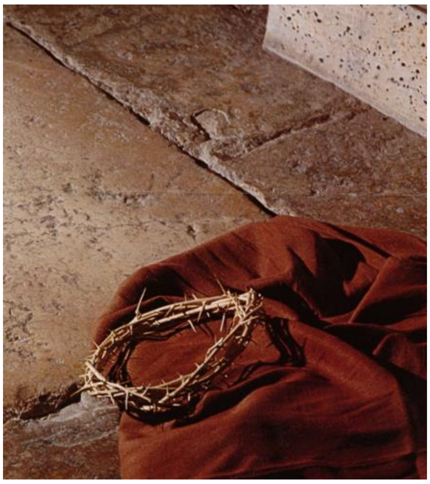
朗読劇

JESUS IS LORD

イエス・キリストの生涯



ＣＦＮＪ聖書学院

キャスト

ナレーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・岩村　一義

イエス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・木藤　穣

マリヤ・サマリヤの女・・・・・・・・・・・・・・・・・・・中澤　美樹

み使い・ペテロ・ニコデモ・・・・・・・・・・・・・・・・・北坂　信頼

歌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全員

スタッフ

脚本・演出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・鍛冶川　紀子

ＢＧＭ・照明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・伊藤　雄基

ピンスポ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ロケ・ジョシュ

プロジェクター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・宮内　仰

プロローグ　　　出演者全員ステージに　板付き

①初めにことばがあった。
②ことばは神とともにあった。
③ことばは神であった。
④この方は初めに神とともにおられた。
⑤すべてのものはこの方によって造られた。
⑥造られたものでこの方によらずにできたものは一つもない。
⑦この方にいのちがあった。
⑧このいのちは人の光であった。
⑨光は闇の中に輝いている。
⑩やみはこれに打ち勝たなかった。
⑪すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。

ナレ：今からおよそ二千年前、ガリラヤのナザレという町に住むひとりの処女のところに神から遣わされた御使いガブリエルがやってきました。この処女（おとめ）は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤと言いました。

ｶﾞﾌﾞ：「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。こわがることはないマリヤ！あなたは神から恵みを受けたのです。ごらんなさい。あなたはみごもって男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。又、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

マリ：「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。」

ガブ：「聖霊があなたの上にのぞみ、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ生まれるものは聖なる者、神の子と呼ばれます。“神にとって不可能なことはひとつもありません。”」

マリ：「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのお言葉通り、この身になりますように。」

ガブ：「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は何と幸いなことでしょう。」

ナレ：夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めました。彼がこのことを思い巡らしていた時、主の使いが夢に現われて言いました。

ガブ：「ダビデの子ヨセフ、恐れないで、あなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救って下さる方です。」

ナレ：その頃、全世界の住民登録をせよ、という勅令が皇帝アウグストから出ました。これはクレニオがシリヤの総督であった時の最初の住民登録でした。それで人々は皆登録のために、それぞれ自分の町へ向かっていきました。

ヨセフもガリラヤの町ナザレからユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行きました。身重になっている許嫁（いいなずけ）のマリヤも一緒に登録するためでした。

ところが、どの宿も人がいっぱいで彼らのいるところがなかったのです。歩き疲れてようやくとどりついた先は、貧しく暗い家畜小屋でした。そして、彼らがそこにいる間にマリヤは月が満ちて男子の初子を産みました。それで布にくるんで飼葉おけに寝かせました。

　神のひとり子イエス･キリストは、十字架の生涯を象徴するかのように、貧しく暗い家畜小屋の中でお生まれになりました。

ナレ：さて、馬小屋から少し離れたところに、羊飼いたちが野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていました。すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので彼らはひどく驚き恐れました。

ガブ：「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。今日、ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ、主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどり子を見つけます。これがあなたがたのためのしるしです。

歌

"いと高き所に栄光が神にあるように・・・
地の上に平和が御心にかなう人々にあるように・・・。"

ナレ：このすばらしい知らせを神様は、心から救い主を待ち望んでいた羊飼いたちに知らせてくださいました。羊飼いたちの中に喜びがわきあがり、彼らはさっそく、ベツレヘムへ行って、マリヤとヨセフと飼葉おけに寝ておられるみどり子をさがしあてました。羊飼いたちは見聞きしたことが全部、御使いの話の通りだったので、神をあがめ、心から賛美をささげました。

ナレ：その後、イエス様は、ナザレという町で大工の父ヨセフと母マリヤによって大切に育てられ、神からも人からも愛されるすばらしい少年に成長されました。

そして、イエス様が三十歳になられた時、神様の言葉が荒野にいたバプテスマのヨハネに下り、彼はヨルダン川で多くの人に洗礼を授けていました。

イエス様もまた、ヨハネからバプテスマを受けるために、ヨルダン川に下ってこられました。それを見たヨハネはこう叫びました。

「おお、見よ。世の罪を取り除く神の小羊。あの方こそ、生ける神の子キリストです。」

――― バプテスマを受けられるイエス様 ――プロジェクターに

ナレ：イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼を受けられた時、聖霊が鳩のようにイエス様の上に下ってこられ、天からこのように言う声が聞こえました。

神　："これは私の愛する子。私はこれを喜ぶ。"

ナレ：聖霊に満たされたイエス様はその後、荒野で四十日四十夜、悪魔の試みにあわれました。しかし、そのすべてにみことばをもって勝利されました。そして、その時からイエス様はご自分の働きを始められましたが、まずご自分とともに働く弟子たちを集められました。一番弟子と言われたペテロを始め、アンデレやヨハネ、税金とりマタイ等、12 人の弟子たちを選ばれ、多くの町々に出かけていきました。そして、多くの人々を病気と苦しみと悪霊からいやし、又、多くの盲人を見えるようにされました。

イエス様の行く所、どこにおいても、その町に大きな喜びがわきあがりました。

さて、そんなある日、ユダヤ人の指導者であり、厳格なパリサイ人のニコデモが夜遅くイエス様の元へやって来ました。

ニコ：「先生、私は、あなたが神の元から来られた教師であることを知っています。

神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなしるしは誰も行なうことができません。」

イエス：「ニコデモ、あなたによく言っておきます。人は新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

ニコ：「新しく生まれる？　こんな年寄りがどのようにして新しく生まれることができるのですか。もう

一度、母の胎に入って生まれることができましょうか。」

イエス：「もう一度あなたに言います。人は水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。あなたがたは、新しく生まれなければならないと、私が言ったことを不思議に思ってはなりません。

風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来て、どこへ行くのか知らない。神によって生まれるものもみなその通りです。」

ニコ：「どうしてそのようなことがありうるでしょうか。」

イエス：「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。」

ニコ：「どうか私にも分かるようにお話ください。私はあなたのことばを聞くために、今夜ここに来ているのですから。」

イエス：「だれも天にのぼったものはいません。しかし、天から下ったものはいます。すなわち人の子です。モーセが荒野でへびを上げたように、私もまた、上げられなければなりません。それは、私を信じるものが皆、永遠の命を持つためです。」

ニコ：「永遠の命？新しく生まれる？私もまた上げられる？そしてそれを信じるなら、永遠の命を持つとおっしゃるのですか？」

イエス：「そうです。私が世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、私によって世が救われるためなのです。」

ニコ：「こんな私でも救われるのでしょうか・・・？」

イエス：「もし、あなたが信じるなら・・・」

ナレ：神は実にその一人子をお与えになったほどに世を愛された。それは、御子を信じるものがひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ナレ：　さて、ここにイエス様から生ける命の水をいただいて生まれ変わった一人の女性がいます。サマリヤの女と呼ばれるこの人は、人々からいやしい女、汚れた罪ある女と言われ、誰からもきらわれて、口をきいてくれる人もいませんでした。今日も人目を避けて、誰もいない昼間、井戸に水を汲みに来たところ、イエス様にお会いしたのです。イエス様はこの女性の渇いた心と過去のすべての出来事を、何もかもご存知でした。イエス様は愛に満ちたまなざしで、この女性を見つめ、言われました。

イエス：「私に水を飲ませてください。」

サマ：「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女の私に飲み水をお求めになるのですか。」

イエス：「もし、あなたが私が誰であるかを知っていたら、あなたのほうで私に求めることでしょう。わたしはあなたに生ける水を与えることができるからです。」

サマ：「ごめんなさい。でも、あなたは汲むものを持っていないし、この井戸はとても深いんですよ。その生ける水をどこから手に入れるんですか。この井戸はヤコブの井戸、私たちの先祖はみな、この井戸から水を飲んだのです。」

イエス：「この水を飲むものは誰でもまた渇きます。しかし、私が与える水を飲むものは誰でも決して渇くことがありません。私が与える水はその人のうちで泉となり、永遠の命の水が湧き出ます。」

サマ：「永遠の命の水ですって？何のことだか良くわからないけれど、先生、もし永遠に渇くことのない水があるなら、私だってその水を飲みたい。あたしにもその水をくださいな。」

イエス：「では行って、あなたの夫をここに呼んできなさい。」

サマ：「夫を・・・ですか？私には夫はありません。」

イエス：「私には夫がないというのはもっともです。あなたには夫が五人あったが、
今、あなたと一緒にいるのは、あなたの夫ではないからです。あなたが言ったことは本当です。」

サマ：「どうして、そんなことが・・・先生、あなたは預言者なのですね。答えてください。私は今、何をすればよいのでしょうか。」

イエス：「女の人、私の言うことを信じなさい。」

サマ：「信じたいです。」

イエス：「あなたはただ、このことをするべきです。天の父なる神は、まことの礼拝者を求めておられる

のです。神は霊ですから、あなたがたも霊とまことによって礼拝しなければなりません。」
サマ：「私は、キリストと呼ばれる救い主メシヤの来られることを知っています。その方が来られる時には、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。」
イエス：「あなたと話しているこの私がそれです。」
サマ：「おお、主よ。私は今見たこと聞いたことを今すぐに、サマリヤの人全部に話します。皆もきっと、あなたを信じるでしょう。主よ、私はあなたを礼拝します。」

ナレ：さて、この女の証言によって、この時サマリヤの町の多くの人がイエス様を信じ、さらに多くの人々が、イエス様ご自身のことばによって、この方こそ主であることを信じるようになりました。神はこのように罪ある女や、名もない無学な漁師を生まれ変わらせてくださり、彼らを通してご自身の栄光を現されたのです。誰でもイエス様にお逢いして、そのことばに触れた人は皆新しく変えられて、命あふれる感謝と賛美の日々に入っていくのです。イエス様はそれまで誰も聞いたことのない権威ある命のことばを話されました。

イエス：「わたしが命のパンです。わたしに来るものは決して飢えることがなくわたしを信じてるものはどんな時にも決して渇くことがありません。父が私にお与えになるものはみな、わたしの所に来ます。そして、私のところに来るものをわたしは決して捨てません。」

ナレ：公に働きを始めてられておよそ三年半位たった頃、イエス様は、いよいよこの世を去って父のもとに行くべき自分の時が来たのを知り、いつも共にいた１２人の弟子たちと深く愛され、その愛を余すところなく、示されました。

♪ 歌 ♪

“このパンは私のからだ　裂いてとり　食べなさい
十字架の上で裂かれる　罪なきからだ
私はあなたのために　この命を捨てる
永遠に変わらぬ　契りを結ぶため
ああ　とわの愛を　固く心にとめ
すべての罪を赦すために　流された血潮を信じ　受ける“

“この杯は私の血潮　注いで飲みなさい
十字架の上で流れる　罪なき血潮
わたしはあなたのために　この命を捨てる
永遠に変わらぬ　契りを結ぶため
ああ　とわの愛を　固く心にとめ
すべての罪を赦すために　流された血潮を信じ　受ける“

ナレ：イエス様はこのあと、ご自分が十字架にかけられ死んで葬られたあと、三日目によみがえることを弟子たちに話されました。

ナレ：その頃、ユダヤ人の指導者たちは、イエス様がじゃまでたまりませんでした。
それはイエス様によって彼らの偽善があばかれ、そればかりでなく、人々がイエス様を本当にユダヤ人の王にするのではないかと恐れていたからです。
　悪魔は１２弟子の一人、イスカリオテのユダをそそのかし、銀貨３０枚でイエス様を裏切らせようとしていました。しかし、イエス様はすでにそのことを知っておられました。ユダがご自分を裏切り、祭司長や律法学者たちにご自分を売ってしまうために、食事の席から立って出て行った後、イエス様は弟子たちに言われました。

イエス：「あなたがたは今夜、みなつまずきます。
“わたしが羊飼いをうつ、すると羊はちりぢりになる。”と書いてありますから。」
ペテ：「たとい全部のものがつまずいても、私はつまずきません。」
イエス：「あなたは今日、今夜、鶏が二度鳴く前に私を知らないと、三度言います。」
ペテ：「たといご一緒に死ななければならないとしても、私はあなたを知らないなどとは決して申しません。」
ヤコ：「主よ、私もです。どこまでもあなたについていきます。」
イエス：「では、私について来なさい。」

ナレ：このあとイエス様は弟子たちと共にゲツセマネの園という所に行かれました。そしてペテロとヨハネとヤコブにここで祈っていなさいと命じられてから、ご自分は少し離れたところで苦しみもだえながら三度も父に祈られました。苦しみのあまりイエス様の額からは地の汗がしたたり落ちていました。

イエス：「父よ、この杯をわたしから取りのけて下さい。しかし、私の願いではなく、あなたのみこころのとおりにして下さい。」

ナレ：12 弟子のひとり、イスカリオテのユダの裏切りによって、イエス様は捕えられて行きました。このときまでイエス様のそばを離れずに従って来た弟子たちは、おそろしさのあまり、みな、ちりぢりに逃げ去って行きました。ペテロだけは、そっとあとからイエス様について行きましたが、門番やしもべたちに「あなたはあの弟子ではないか。」と問いつめられた時、三度も「そんな者ではない。」と否定してしまいました。
ナレ：イエス様はむち打たれ、いばらの冠をかぶせられました。頭と背中から容赦なく流れ出る血潮は、傷だらけの身体を赤く染めていきました。イエス様が全人類の身代わりとして十字架につけられるのは、神が預言者イザヤを通して語られていたことだったのです。
“まことに彼は、私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。**だが**、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと･･･。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。”

♪ 歌 ♪

※エルシャダイ　エルシャダイ　エルエルヨナアドナイ
時を越え　とわに　変わらぬその名
エルシャダイ　エルシャダイ　エルカナアドナイ
全能の神　エルシャダイ

①すべての富とほまれを捨てて　神はみずから人となられた
力に満ちた　愛のまなざし　光と泉　主イエス

②私たちの犯した罪の　身代わりとして十字架につき
救いをこばみあざける人を　彼はとりなし赦しを祈る　※　（くりかえし）

※エルシャダイ　エルシャダイ　エルエルヨナアドナイ
時を越えとわに　変わらぬその名
エルシャダイ　エルシャダイ　エルカナアドナイ
全能の神　エルシャダイ

・・・・・・・・・・十字架につけられる音・・・・

ナレ:イエス様は、ゴルゴダの丘の上で二人の強盗と共に十字架につけられてしまいました。
そしてご自分を十字架に付けた人々のためにこう祈られたのです。

イエス「父よ。彼らをお赦し下さい。彼らは何をしているのか、自分でわからないのです。」
ナレ:そして最後に、
イエス:「完了した。父よ。わが霊を御手にゆだねます。」
ナレ:そう言って息を引き取られました。
人々は冷たくなってしまったイエス様のからだを十字架から取りおろし、墓に埋葬しました。すべてはこれで終わってしまったかのように思えました。しかし、実は、それははじまりにしかすぎなかったのです。神はこのイエス様を死からよみがえらせて下さったのです。

ハレルヤ！

――― 音楽と共に、よみがえったイエス様の姿がプロジェクターに ―――

C　　G/B　　　Gm　　　　A7
ハレルヤ　主をほめよ　死を打ち破り甦られた
Dm7　　　　Dm7Em7FM7　Em7Dm7 Em7FM7　G7
勝利のイエスは生　き　ておられ　る　今　ここに

C　　　　　　　G/B
主はアルファで　オメガ　永遠の神
Gm　　　　A7
罪の呪いは打ち砕かれた
Dm7　　　　Dm7EmFM7 Em7 Dm7　Em7 FM7　G7
神の小羊は　生　きておられる　今　ここに

F　　F/G G7 F/G G7 F　C
ハレルヤ　主　に　歌　　え

イエス:「わたしには、天においても地においてもいっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行ってあらゆる国の人々を弟子としなさい。そのために私はあなたがたに聖霊を注ぎます。その時あなたがたは、私が今も生きて働いていることを知り、私の証人となるでしょう。」

ペテ:「キリストは生きています。父なる神は、その全能の力を、御子イエス・キリストの内に働かせて、彼を死の力から解き放たれたのです。彼は私たちの罪の身代わりとして死に渡されましたが、今や、全人類に永遠の命を与えるために、死からよみがえられたのです。キリストは今も生きています。私たちはそのことの証人です。」

ナレ:キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。 キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、すべての口が、
「イエス・キリストは主である。」
と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。

フィナーレ

＜　全員賛美　＞

F　　　Gm7 C7　　　F
　イエスは主　 イエスは主
Dm　DM7　 Dm7 DM7 Gm7 C7
　死からよみが　えられた主

　　F　　F7　　Bb　　Gm
すべてのものは　ひざをかがめて
　F　　　C7　　F
あがめんイエスは主

ナレ:このイエス様は、天に昇られたときと同じ姿でもう一度、私たちのところに来られます。
あなたはこのイエス様を、もっと深く知りたいと思いませんか。主は今も生きておられ、あなたに語りかけておられます。

イエス:「私はよみがえりであり、いのちなのです。私を信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていて、わたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。このことを信じますか？」
「もし、あなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見るであろう。」

＜　全員賛美　＞

　　F　　F7　　Bb　　Gm
すべてのものは　ひざをかがめて
　F　　　C7　　F
あがめん　イエスは主

ドラマクラススケジュール表　　　　担当講師　鍛冶川紀子

２０２４年度　１学期（４月 19 日から７月３日まで）全１０回。

毎週　金曜日午後１時から２時まで　　　ホールにて。

演目　朗読劇　JESUS IS LORD

① 回目　　４月 19 日〈金〉　柔軟体操・発音・発声練習。本読み

② 回目　　４月 26 日（金）　柔軟体操・発音・発声練習。本読み

③ 回目　　５月 10 日〈金〉　ドラマ脚本　本読み。

④ 回目　　５月 17 日〈金〉　半立ち稽古

⑤ 回目　　５月 24 日〈金〉　立ち稽古

⑥ 回目　　５月 31 日〈金〉　立ち稽古

⑦ 回目　　６月　７日〈金〉　立ち稽古

⑧ 回目　　６月 21 日（金）　立ち稽古　BGM 入り

⑨ 回目　　６月 28 日〈金〉　総稽古　・すべて本番と同じに　総練習

本番　発表：７月３日｛水｝午後２時~3 時

各選択科目リサイタル

クラスの開始時間、５分前に来て、会場の準備をすること。机と椅子を両サイドに片付け、広い空間を造る。立ち稽古に入ったら舞台の上の邪魔なものを片付け必要な大道具など、舞台設定を準備しておく。終了後は元どおりにかたづける。

※立ち稽古に入る前までに、自分のセリフを暗記しておくこと。